慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開 : 戦前/戦後の「共同性」をめぐって
Sub Title	Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son activité collective de l'avant et l'après guerre
Author	笠井, 裕之(Kasai, Hiroyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方か゛ある。しかし瀧口修造か゛戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のシ゛ャンルと国境を越える活動、とりわけマルセル・テ゛ュシャン、ジョアン・ミロ、アントニ・タピ゜エスらとの共同制作とを一貫した視座て゛捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡つ゛けることか゛可能て゛はないか——。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口か゛戦前戦後を通し゛てシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みて゛ある。 2019年度の活動の中心としたのは以下の2点である。 （１）瀧口とミロの共同制作に関する資料調査。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイウ゛」、スヘ゜インのシ゛ョアン・ミロ財団等て゛収集した瀧口とミロの書簡を分析し、往復書簡集の刊行に向けて翻訳と解説の執筆を進めた。 （２）戦前と戦後を通じた瀧口の活動における「共同性」の検証。國立台灣美術館で企画された日本統治時代の台湾における前衛芸術運動を主題とする展覧会《共時的星叢——「風車詩社」與跨界域藝術時代特展》に展示物の選定等、準備段階から協力し、展覧会にあわせて開催されたシンポジウム「日殖時期現代文藝的共時與差異論壇」で講演をおこなった。また慶應義塾大学アート・センターの資料展《影どもの住む部屋 II —— 瀧口修造の〈本〉——「秘メラレタ音ノアルひとつのオブジェ》に協力し、瀧口とデュシャン、西脇順三郎、飯田善國らとの関係についてカタログの解説を執筆した。 1. Avoir mené des enquêtes de documents sur la collaboration de Shuzo Takiguchi avec Joan Miró. (Aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takkguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi à l'Artthèque de l'Université des Beaux-Arts Tama.) 2. Avoir collaboré aux expositions : « Constellation synchronique — Le Moulin Société poétique et son temps : Une exposition transfrontalière » (Musée national de Taïwan des Beaux-Arts) ; « Le cabinet de travail hanté des ombres II — Livres faits à la main de Shuzo Takiguchi — Un objet aux bruits secrets » (Centre d'art de l'Université Keio).
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190040

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

2020 年 3 月 13 日

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 （A） 千円
	氏名	笠井 裕之	氏名（英語）	Hiroyuki KASAI		

研究課題（日本語）

瀧口修造におけるシュルレアリスムの展開：戦前／戦後の「共同性」をめぐって

研究課題（英訳）

Le développement du surréalisme chez Shuzo Takiguchi : sur son activité collective de l'avant et l'après guerre

１．研究成果実績の概要

日本のシュルレアリスムは戦時下の思想統制の激化とともに途絶したとの見方がある。しかし瀧口修造が戦前に参画したシュルレアリスム運動と、戦後のジャンルと国境を越える活動、とりわけマルセル・デュシャン、ジョアン・ミロ、アントニ・タピエスらとの共同制作とを一貫した視座で捉えることにより、瀧口独自のシュルレアリスムの展開を跡づけることが可能ではないか ──。本研究はこの視点に立ち、国内外に所蔵されている各種資料を精査し、瀧口が戦前戦後を通じてシュルレアリスムをいかに受容し発信したかを「共同性」の観点から検証しようとする試みである。

2019 年度の活動の中心としたのは以下の 2 点である。

(1)瀧口とミロの共同制作に関する資料調査。慶應義塾大学アート・センターの「瀧口修造アーカイヴ」、スペインのジョアン・ミロ財団等で収集した瀧口とミロの書簡を分析し、往復書簡集の刊行に向けて翻訳と解説の執筆を進めた。

(2)戦前と戦後を通じた瀧口の活動における「共同性」の検証。國立台灣美術館で企画された日本統治時代の台湾における前衛芸術運動を主題とする展覧会《共時的星叢──「風車詩社」與跨界域藝術時代特展》に展示物の選定等、準備段階から協力し、展覧会にあわせて開催されたシンポジウム「日殖時期現代文藝的共時與差異論壇」で講演をおこなった。また慶應義塾大学アート・センターの資料展《影どもの住む部屋 II ── 瀧口修造の〈本〉──「秘メラレタ音ノアルひとつのオブジェ》に協力し、瀧口とデュシャン、西脇順三郎、飯田善國らとの関係についてカタログの解説を執筆した。

２．研究成果実績の概要（英訳）

1. Avoir mené des enquêtes de documents sur la collaboration de Shuzo Takiguchi avec Joan Miró. (Aux archives Shuzo Takiguchi au Centre d'art de l'Université Keio, à la Fundació Joan Miró à Barcelone, à la Collection Shuzo Takkguchi au Musée préfectoral de Toyama et à la Bibliothèque Shuzo Takiguchi à l'Artthèque de l'Université des Beaux-Arts Tama.)

2. Avoir collaboré aux expositions : ≪ Constellation synchronique — Le Moulin Société poétique et son temps : Une exposition transfrontalière ≫ (Musée national de Taïwan des Beaux-Arts) ; ≪ Le cabinet de travail hanté des ombres II — Livres faits à la main de Shuzo Takiguchi — Un objet aux bruits secrets ≫ (Centre d'art de l'Université Keio).

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
笠井 裕之	西脇順三郎と瀧口修造：複言語の視点から	慶應義塾大学外国語教育研究センター WEB サイト「複言語のすすめ」	2019 年 4 月
笠井 裕之	『日曜日の散歩者』に寄せる三つの主題［講演］	日殖時期現代文藝的共時與差異論壇，國立台灣美術館（台湾，台中）	2020 年 6 月
笠井 裕之	台中へ──《共時的星叢》展をみる	『現代詩手帖』，思潮社	2019 年 8 月
笠井 裕之	アラン・ジュフロワ詩選集［翻訳］	ギャラリー TOM における展覧会《詩を生きる──詩人探検家アラン・ジュフロワを偲ぶ会》配布物	2019 年 10 月
笠井 裕之	瀧口修造 1963	『現代詩手帖』，思潮社	2019 年 11 月
笠井 裕之	瀧口修造とマルセル・デュシャンについて etc.［カタログ解説，計 7 点］	アート・アーカイヴ資料展 XX《影どもの住む部屋 II──瀧口修造の〈本〉──「秘メラレタ音ノアルひとつのオブジェ》カタログ，慶應義塾大学アート・センター	2020 年 1 月
笠井 裕之	《共時的星叢》展に寄せて──慶應義塾の所蔵品を中心に	《共時的星叢──「風車詩社」與跨界域藝術時代特展》図録，本木工作室有限公司（台湾）	2020 年春刊行予定